

山梨県スポーツ指導者協議会

会報

第二十一号

平成23年
3月31日
発行

「存在が意識される指導者に」



会長 松野 傳

スポーツ指導者の需要は多くなってきたように思われる。しかし、そのことに関して公認スポーツ指導者の存在は、一般に認識がされてはいない。指導を依頼する側に見れば、面識のある人や信頼できる人からの紹介による人等、対象となる人のことを頭に描くことのできる人、つまり「存在が意識できる人」を採用する傾向がある。公

る支部組織を通しての働きかけが有効であるように思われる。指導者個人では困難でも、支部

組織を通してなら、出来るようにも思われる。支部と地域の市町村の教育委員会や体育協会、そして小中体連の支部や最寄りの高等学校等との交流を密にし、これらの機関への働きかけには、効果があるように思われる。それには、指導者自身が支部と一体となり、積極的に活動に参加することが必要な条件である。

赴くようにしたいものである。指導を求めると同時に「優に繋がっているように思われた指導者として存在が意識される」ことが、指導の実践

「平成二十二年度

関東ブロック会議に参加して」

——概要報告・県指協の回顧・更なる充実発展への想い——



副会長 若尾 重廣

県スポーツ指導者協議会は平成二年二月十八日設立総会を開催。会則制定・事業計画・予算の決定・役員の選出・設立準備委員会でご苦勞戴いた一木昭男委員長を会長に、副会長二名理事十三人を選出。会員の資質・指導力の向上、地域特性に応じた指導活動の促進等を目的に活動を開始した。以来二十二年が経過した。顧み

に出席した。会議の目的は県ス指協の目的と連動しており、二十二年度は群馬県ス指協が主管し高崎市で実施された。スポーツ指導者の養成と活動の促進を共通テーマに、サブテーマ(1)総合型地域スポーツクラブと公認指導者(2)公認指導者の更新率の向上策について(3)学校部活動における外部指導者について、(1)(3)については各都県の代表によって発表された。本県では(1)を若尾が担当した。総合型地域スポーツクラブ育成アドバイザー進藤芳昭先生より資料を戴き、設置率八十一・五%、指導者の公認資格保有率四十二・五%等を中心に発表(2)は日体協より説明があり山梨は更新率八十九・五%(全国二十四位・関東三位)(3)は佐藤博水理事が河口湖南

中剣道部での指導体験を発表され、参加者の共感を呼んだ。日体協による説明、テーマによる都県代表の発表、情報交換会への参加は得るところ大である。来年度からは予算の関係で中止されるとのことであるが、全国研修会、県・支部研修会等に積極的に参加、学習し、縦横の関係を密にするよう努めていくことがス指協の充実発展への足掛かりと想える。



平成二十二年度 東山梨支部の活動

「いきいき教育地域人材活用推進 事業への協力を通して思うこと」



山梨県スポーツ指導者協議会 東山梨支部 小川 徹

山梨県教育委員会が行っている標記の事業は平成七年度から始まった国の補助事業で、学校教育において児童生徒の体験的な学習の充実を図り、児童生徒に「生きる力」を育んでいくことが求められている。そのため、幅広い経験や優れた知識・経験をもつ地域在住の専門家・社会人を学校に招き、授業の中で活用することが必要になって来ている。このようなことから、本事業では「各学校の教科・領域の指導計画に則り、担当指導教師のもと、それぞれ

の専門的分野の講義や実技などを通して、児童生徒がいきいきと学べるよう、学校教育の活性化に資することを目的とする」とあります。私たちは、平成九年度よりこの事業の講師に委嘱され現在まで十四年間実際の学校現場でお手伝いをさせて頂いております。この事業に協力していく中で「一人でも水泳好きの児童を増やしたい。つまづいている子ども達に、水泳の楽しさを味わわせてやりたい。」という同じ気持ち

ちをもった仲間を集いこの事業に協力してまいりました。平成二十二年度の活動も延べ二十八日間の全日程を無事終了することが出来ました。

甲州市立菱山小学校一年生児童九名から覚えたばかりのひらがなでうれしい手紙も貰いました。

毎年ですが、貰った喜びも然ることながら、児童一人一人に返事が書ける喜びも相当なものです。

昨夏も喜びを噛みしめながら、児童一人一人に返事を書くことが出来ました。

シーズンを終えて指導者仲間と行った反省会では、個に応じた指導を通して、子ども達から信頼された喜び、自力で泳げるようになった子供たちの誇らしげな表情、それがたまらなくうれしく、教育というものの醍醐味を身をもって味

わうことが出来たことに感謝したいという感想も出されました。また、水泳の指導だけでなく子ども達の心の面にも多く関わられたことは、今後の私たちの活動の充実や発展に大いに役立つという成果も出されました。

子ども達からの信頼や、先生方の期待にこれからも応えていくためにも更に研鑽をかさねていきたいと思うと同時に、同じ考えをもった仲間を増やし、みんなで資格を取りながら学校現場や地域スポーツの場で多くの子ども達や地域の皆さまと水泳を通して豊かな関わり合いを深め貢献できたらと、願ってやみません。

子ども達の笑顔とクラス全員から届けられた嬉しい便りに支えられてのあつという間の十四年間でした。



甲州市立菱山小学校1・2年生児童16名です



頼もしい指導者仲間達です。富士河口湖町周辺で活動中



平成二十三年度のシーズンも陰で支えて下さっている大勢の皆さまに感謝しながら、待っていてくれる児童

達のために、頼もしい指導者仲間と「安全最優先」で頑張ります。

研修会の報告

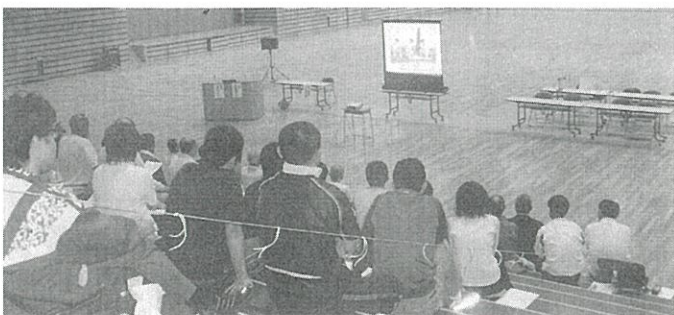
自己研鑽

甲府支部 石田 一元

自分が何に基づいてスポーツ指導を行っているかと問われると、選手時代に指導されてきたものがその根幹にある。そして、いいにつけ悪いにつけ自分の指導の抛り所となってしまうので、それに頑固にしがみつく自分をなかなか変えることができない。それではいけないと分かっていても…。

しかし、スポーツ指導者研修会を受講する度に、それが、がらがらと音を立てて崩されていく。今回も、花輪先生・林田先

生の「トレーニングの科学（スポーツにおけるコナンディシヨニング）」は、理論と実技の両面からの講習で学ぶことが非常に多く、目を見開かされる思いがした。同時に、指導者には選手以上の自己



5月29日研修会

研鑽の重要性を痛感した。

人は自分がやらなければいけないと強く意識すればするほどに、腹が据わり、力がみなぎってくる。意識の持ち方次第で物事の取り組みも変わってくる。今後も、指導者研修会には高い学習意欲と関心を持って臨みたい。そして、幅広い視野と識見を持つ指導者になるべく自己を磨いていきたい。

「山梨県スポーツ指導者研修会に参加して」

二宮 山也

過日、山梨県スポーツ指導者研修会が開催され、指導者の一員として参加した。講義は、「遊びを通じた体力づくり」、「運動

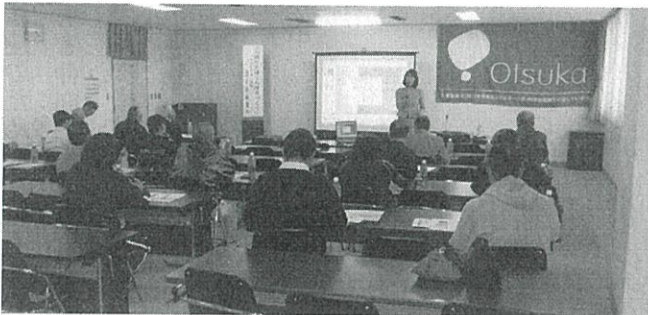
後のスポーツマッサージ」という内容で行われた。

どちらもスポーツ指導に直結する内容で、指導者としての知識・技術を深めるよい機会となった。小泉先生には、子ども

有意義な講義であった。

剣持先生には、運動後の整理体操いわゆるクルダウンの重要性、実践方法について、実技をまじめ講義をしていただいた。現在では常識になりつつあるクールダウンの必要性・重要性を改めて学ぶことができた。今後、現場で実践していきたい。今回の講義を通し、ス

著しいが、運動能力については低下傾向にあるという。子どもたちの健全な発育に重要な体力が低下している現状は、より多くの子どもたちに運動する機会・場所を提供する総合型地域スポーツクラブの必要性を気づかせてくれた。我々指導者の積極的な関わりが重要であると考えさせられる、



11月21日 峡南地区研修会

スポーツ指導者に必要な知識・技術を得ることができたのではないかと考えている。自分自身でより

深めるよう努力するとともに、今回得たものを積極的に活用していきたい。

スポーツ指導者研修会

南都留支部長

勝 俣 進

平成二十二年十二月十二日(日)に、公認指導者他の関係者の参加をいただき研修会を開催いたしました。研修内容は、①スポーツ科学論Ⅰジュニアスポーツ指導の方法論Ⅱ都留文科大教授麻場一徳先生。②スポーツマッサージⅡ健康科学大学理学療法学科助手・博士大久保雄先生。③研究協議「学校部活動と公

認スポーツ指導者の関わりについて」の3部構成で研修会を開催いたしました。

①については、スポーツの目的、運動技術の捉え方、モチベーションの高め方、学習規律の育て方等、最後にジュニアスポーツ指導者としての心がけ等について豊富な経験を絡めて講義していただきました。②については、実技指導というこ

とでは、基本的な理学療法、スポーツ理学療法の区分、マッサージの語源や歴史、原則等の講義を受けてから、参加者全員が複数組に分かれて実技を行いました。マッサージは、実際には予防と競技力の向上を生む重要な要素であることをあらためて認識した時間でした。③については、学校側からは、専門性を持つ教員が少ないこと、逆に



12月12日 南都留研修会

専門性がなくても熱心に指導していること等。指導者側からは、学校現場からの外部指導者の積極的な活用等が上げられましたが、指導時間帯の関係で厳しいとの指摘もあり、今後さらなる話し合いが必要であるとの認識で一致しました。以上大変有意義な会で終了することができました。

山梨県スポーツフェスティバルに協力

——ス指協の認知度を高めるために——

組織財源部 内 田 建 也

通称「ス指協」山梨県スポーツ指導者協議会（以下

「ス指協」と呼ぶ）は、県内におけるスポーツ指導者の意識を高揚し、指導者としての資質の向上と相互の連携を図り、県民スポーツの普及発展に寄与することを目的として組織されて久しいが、平成二十年二月二十八日開催された平成十九年度第四回理事会において組織財源部から「活動を軌道に乗せるにも「ス指協」そのものの知名度が低いので、先ず認知度を高める事が第一である。」との意見が出された。その為に「諸々のスポーツイベントに協賛するなどして認知度を

側で行われたが、我らがス指協の会員も受付の協力又開会式後の準備運動等の手伝いを行った。これに対し主催者側からス指協が協賛している旨の場内放送がされて意を強くした所である。

更に翌年、平成二十二年

四月三日に行われた「第三回山梨県スポーツ少年団フェスティバル」にも第二回同様協賛団体として参加し、第一回のポジションにさらに一歩前進しスポーツテストの測定にも協力し万丈の気を吐いた。

尚、本年（平成二十三年）

も四月二日に「第四回山梨県スポーツ少年団フェスティバル」の開催が予定され、当然ス指協も協賛を予定していたが残念なことに東北関東大震災の発生により中止された。

ス指協が協賛した「第二回、第三回山梨県スポーツ

少年団フェスティバル」とも団員とそれに付き添う保護者を加えると優に一〇〇〇名を越えており、これらの人達の脳裏には少なからずス指協の名前が残ったものと思う。又そうあって欲しいと思う次第です。

二度にわたる協賛事業はス指協としてはほんの短い一歩を踏み出したに過ぎないが、更に今後は視聴覚は勿論あらゆる媒体を用いてス指協をPRし認知度を高めていく必要があると思う。又、ス指協の認知度が低いのは「スポーツ少年団指導者協議会」との類似した名称にも隘路があると思われるので嘗って検討したこともあったス指協の名称について再考の必要があると思われる。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

一人のスポーツ指導員として

望月 泰孝

(山岳上級コーチ)



てみると良い思い出である。

私にとって指導者資格を取得することは、スポーツを指導することが目的ではなく、知識や技術を習得しておくことが、今後の自分自身の登山活動を実践していく上において、有利だと考えたからだ。

かいじ国体終了後、私は、国体山岳競技の監督として、本大会へ十回参加した。当時、登山は競争するものではないとの考え方が主流で、岳連の中でも理解する者は少なかった。しかし、国体の正式種目にあり、努力すればよい結果がでる。何回か合宿を行い、それなりの成果もあげることが出来たのは、指導員資格の取得で得た事が、役に立った。ひたむきに努力す

平成二十二年十二月十七日、岸記念体育会館で行われた表彰式において、全国一九〇名の一人として受賞できたことに對し、県体育協会初め関係者の皆様に感謝申し上げます。

私は、昭和六十年に上級コーチの課程を修了し、資格を取得した。その頃、山梨県は「かいじ国体」一色で、官民一体となって邁進していた。県の国体局職員として、携わる事が出来たことは、退職した今になっ

る選手に教えられることも多く、また、県内外の関係者との交流も出来た。指導員資格の取得は、私のライフスタイルの大きな財産になった。

峡中地区の指導者協議会支部の研修会等にも参加し、色々勉強させていただいている指導者協議会の仲間と、「やまなし百名山」の標柱を「黒富士」に設置する際に関わることが出来たことも印象に残っている。

今、私の考えていることは、居住する南アルプス市に山岳会を設立したいという事だ。白根三山北岳をはじめ、全国でも最高級の山岳を擁する南アルプス市に、安全登山、自然保護等を目的とした山岳会を是非設立したいと考えている。

スポーツに親しむ環境を整えたい

藤原 善三

(アシスタントマネジャー)



現在は、南都留支部のスポーツ指導者と連携を図り、富士五湖各地域の資源、立地条件を活用し、スポーツ交流、普及振興に努めている。スポーツ界の受け皿として、その環境を整え、全国スポーツ界の受け皿として、その環境を整え、全国スポーツ交流の拠点としたい。スポーツ指導者として、その使命と役割を果し、活力あるスポーツ環境づくりに努めたい。受賞に際し、関係各位に深く感謝申し上げます。

地域で先輩の先生と、日本の伝統文化の剣道と居合の道場を開き、武道（スポーツ）の特性である礼儀を重んじ、相手を尊重する態度の育成等スポーツで養われる、心、技、体の育成に努めてきた。又、東京の日本武道館での剣道OB会稽古で、当時、国体の正式種目ではなかった「なぎなた」が競技種目に入る話があり、なぎなた教室で学び、山梨の国体選手育成に当たった。

設立したいと考えている。



公認スポーツ指導者 表彰受賞を機に 感じたこと

市村 一司
(体操上級コーチ)



この度は、県体育協会の推薦により平成二十二年
度公認スポーツ指導者等
表彰を受賞することがで
き、皆様に心より感謝とお
礼を申し上げます。

昭和四十九年に教職に
就いて以来、体操競技を通
じて指導させていただき
ました。学校の部活動と地
域のスポーツ活動の連携
を模索する中、多くの優秀
な選手と巡り会えたこと
は、私の拙い指導力を補っ
てなお余りある力をいた
だいたと感じています。

現在は、県高体連や県体

公認スポーツ指導者 表彰を受賞して

山田 かづき
(卓球指導員)



平成二十二年年度公認ス
ポーツ指導者表彰をいただ
き、ご尽力頂いた関係各位
の皆様へ感謝申し上げます
共に、身のひきしまる思い
で一杯である。

白州町卓球スポーツ少年
団を立ち上げ二十八年にな
る。その間、五十三名もの
団員をかかえ何もしてあげ
られなかった時代、競技ス
ポーツとして勝つことに執
着した時代、そして現在は、
生涯スポーツとして身体を
動かすことの楽しみを知
り、個人がそれぞれに目標
に立ち向かった時、達成す
るための基礎を身につけさ

せてあげられるような指導
を心がけている。

認定育成員の資格を得
て、スポーツリーダー養成
講習会やスポーツ少年団指
導者の再講習の講師をつと
め私自身も勉強中である。

選手として、指導者とし
て、諸々の役員として半世
紀を過ごし、小学生から高
校生までの多感な子供達と
接し、その育成に携わるこ
とができるのは、この上な
い喜びである。受賞を契機
として、これからもスポー
ツ少年団活動に取り組んで
いきたいと想うのである。

財 産

小池 一仁
(バレーボール指導員)



皆様方には心より感謝とお
礼を申し上げます。

「かいじ国体」の五年前、
昭和五十七年に山梨中央銀
行女子バレー部を立ち上
げ、スポーツ指導者として
の道を踏み出した。柔道出
身のバレー未経験でありな
がら、恐いもの知らずで飛
び込んだ世界。しかし、現
実は厳しく右往左往の毎日
であった。そんな私を団体
優勝まで導いてくれた、バ
レーボール協会・競合チー
ムの監督の方々。そして、
素人同然の私を監督として
認めていってくれた選手
達。正に私の財産と言える
多くの人達との出逢いであ
る。その財産があるゆえに、
以後も指導者としての道を
歩んでこれたのかなと感謝
あるのみである。これから
も、今回の表彰に恥ずかし
くないよう、スポーツの振
興や地域の活性化に役立ち
たいと考えます。

平成二十二年表彰を受
賞することができ関係者の

平成22年度山梨県スポーツ指導者協議会事業報告

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成22年	4月3日(土)	〈協力事業〉山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬スポーツ公園
	4月15日(木)	第1回執行部会議	小瀬スポーツ公園武道館第2会議室
	4月28日(水)	第1回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	5月11日(火)	平成21年度会計監査	小瀬スポーツ公園管理事務所会議室
	5月29日(土)	平成22年度山梨県スポーツ指導者協議会総会・山梨県スポーツ指導者研修会	小瀬スポーツ公園武道館アリーナ
	6月4日(金)	第2回執行部会議	小瀬スポーツ公園武道館第2会議室
	6月16日(水)	第2回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	6月25日(金)～26日(土)	平成22年度第1回全国スポーツ指導者連絡会議・関東ブロック会議	群馬県高崎市「高崎ワシントンホテル」
	10月15日(金)	第3回執行部会議	小瀬スポーツ公園武道館第2会議室
	10月20日(水)	第3回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	11月21日(日)	山梨県スポーツ指導者峡南地区研修会	身延町中富総合会館
	12月12日(日)	山梨県スポーツ指導者南都留地区研修会	山梨県郡内地域地場産業振興センター
12月17日(金)	平成22年度全国スポーツ指導者連絡会議	東京都	
平成23年	2月4日(金)	第4回執行部会議	小瀬スポーツ公園武道館第2会議室
	2月16日(水)	第4回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	3月31日(木)	会報第21号発刊	

平成23年度山梨県スポーツ指導者協議会事業計画

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成23年	4月9日(土)	第1回執行部会議	小瀬スポーツ公園管理棟会議室
	4月27日(水)	第1回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	5月11日(水)	平成22年度会計監査	小瀬スポーツ公園管理事務所会議室
	5月21日(土)	平成23年度山梨県スポーツ指導者協議会総会・山梨県スポーツ指導者研修会	小瀬スポーツ公園武道館アリーナ
	6月3日(金)	第2回執行部会議	小瀬スポーツ公園武道館第2会議室
	6月15日(水)	第2回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	11月18日(金)	第3回執行部会議	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	11月30日(水)	第3回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	12月10日(土)頃	平成23年度全国スポーツ指導者連絡会議	東京都
12月11日(日)頃	平成23年度公認スポーツ指導者等表彰式・全国研修会	東京都	
平成24年	2月10日(金)	第4回執行部会議	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	2月16日(木)	第4回理事会	小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
	3月31日(木)	会報第22号発刊	

発行元

山梨県スポーツ指導者協議会
事務局

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840

財団法人山梨県体育協会内

TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。スポーツを通して、少しでも生活に明るさが取り戻せますように、我々、公認スポーツ指導者も力を尽くしていきたいと考えております。

編集：広報普及部

あ
と
が
き